



2005 (平成 17) 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 生化学工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 水 谷 建  
(コード番号 4548 東証第一部)  
問合せ先 常務取締役 矢倉俊紀  
(TEL. 03-5220-8950)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 5 月 13 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正

(1) 平成 18 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)  
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想( A )	11,500	3,300	2,100
今 回 修 正 予 想( B )	11,600	3,900	2,400
増 減 額( B - A )	100	600	300
増 減 率( % )	0.9	18.2	14.3
( 参 考 ) 前期実績 (平成 17 年 3 月期中間)	11,023	3,518	2,113

(2) 平成 18 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)  
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想( A )	22,100	5,400	3,400
今 回 修 正 予 想( B )	22,600	5,600	3,400
増 減 額( B - A )	500	200	-
増 減 率( % )	2.3	3.7	-
( 参 考 ) 前期実績 (平成 17 年 3 月期)	22,564	6,978	3,624

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 57 円 20 銭

## 2. 個別業績予想の修正

(1) 平成 18 年 3 月期中間個別業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)  
(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	10,500	3,300	2,200
今回修正予想(B)	10,600	4,100	1,100
増減額(B-A)	100	800	1,100
増減率(%)	1.0	24.2	50.0
(参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期中間)	9,773	3,441	2,081

(2) 平成 18 年 3 月期個別業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)  
(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	20,000	5,500	3,500
今回修正予想(B)	20,400	5,800	2,200
増減額(B-A)	400	300	1,300
増減率(%)	2.0	5.5	37.1
(参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	20,125	6,864	3,590

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 36 円 65 銭

## 3. 修正の理由

### 1) 中間期

#### 売上高

ほぼ期首予想 (平成 17 年 5 月 13 日公表) どおりに推移する見込みです。

#### 利益

研究開発費を中心とした販売費・一般管理費の支出の遅れや円安傾向による外貨建長期貸付金等に係る為替差益の発生により、経常利益は期首予想を上回る見込みです。

なお、個別決算において、米国連結子会社アソシエーツ オブ ケープ コッド社 (ACC 社) の株式評価の見直しを行い、子会社株式評価損 15 億 2 千 6 百万円を特別損失として計上しました。連結決算においては、ACC 社買収後、営業権 (連結調整勘定) の償却を行い、同社株式は純資産相当額で評価されています。一方、個別決算においては、営業権償却を行う必要がないため、買収時の取得価額で子会社株式を計上しており、個別の総資産が連結を上回るという状態が続いてきました。このアンバランスを解消し、財務の健全化を図ることを目的として、当中間期末で評価の見直しを自主的に実施することとしました。このため、個別決算の中間純利益は期首予想を下回る見込みとなります。なお、連結決算では平成 14 年 3 月期をもって営業権償却が完了しているため、今回の措置の影響を受けず、中間純利益は期首予想を上回る見込みです。

### 2) 通期

#### 売上高

国内における関節機能改善剤アルツ・アルツディスポは、市場が拡大していることもあり、順調に売上を伸ばしています。また、平成 17 年 5 月に「慢性関節リウマチにおける膝関節痛」

を適応とする効能・効果追加の承認を取得したことも、売上増加に貢献する見込みです。海外においては、米国での販売は引き続き順調に推移する見通しです。眼科手術補助剤オベガンも有力競合先からの奪回が進み、好調に売上を伸ばしていることから、売上高は期首予想を上回る見込みです。

#### 利益

売上高の増加により、経常利益は期首予想を上回る見込みです。当期純利益については、連結決算では期首予想を上回りますが、個別決算では前述の子会社株式評価損を特別損失として計上するため減少を見込んでいます。

以上

#### 業績予想に関する留意点

当資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますので、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの将来に関する記述に全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レートの変動などが含まれます。